

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
曾木の滝公園周辺のリゾート開発について	曾木の滝公園周辺のリゾート開発をしようと考えているが、川内川流域が県立自然公園の指定地区になっている。川内川流域の景観を生かした整備について、県の方針を伺いたい。	川内川上流域は、県立自然公園に指定されており、まずは景観を保護していく必要がありますが、その景観を活かして、観光振興や休養の場として活用していく取組も重要と考えています。 曾木の滝公園周辺は、川内川流域県立自然公園の普通地域に指定されており、高さ13m又は延べ面積1,000㎡を超える建築物の新築、広告物の設置、土地の形状変更等の行為を行う場合は、届出が必要となります。 開発を行っていただくにあたり、景観や自然環境の保護に配慮していただく必要があるため、具体的な事業の予定があれば、事前に担当課（県自然保護課）へ御相談ください。	自然保護課
滞在型観光の取組強化について	我々は、曾木の滝周辺のほかに見られない素晴らしい観光資源を生かして、短時間の通過型観光から3時間観光を目指すため、2年前から国土交通省と一緒に、社会実験として大鶴湖が有する曾木の滝、発電所遺構や曾木の滝の周辺の社会科見学地や観光地を最大限に活用した遊覧船を秋の時期に取り組んできた。 県として滞在型観光の取組強化策についてどう考えているのか、我々も連携が取れたらと思っているため、ご助言がいただきたい。	滞在型観光については、観光の形態や目的が多様化する中、観光客の増加や滞在時間の長期化、リピート率・観光消費額の増加を図るため、多様な観光ニーズに対応した旅行商品などの観光メニューの充実が必要であると考えています。 このため、県では、新たな体験型旅行商品の造成支援や、体験型旅行商品の予約・販売を行うWEBサイト「VISIT鹿児島県」を運用しており、今後、更なる体験プランの発掘・磨き上げを目的としたセミナーの開催や、SNS等を活用したプロモーションを実施することとしています。 始良・伊佐地域の皆様にも積極的に活用していただきたいと考えています。 また、交通キャリアとタイアップした旅行商品の割引キャンペーンなどを実施したほか、県内旅行会社が取り扱う、地域ならではの視点による体験型メニューについて、首都圏等の旅行エージェントに対し、一体となってセールスを行っております。このほか、本県にゆかりのあるアニメ・映画等に関する情報を募集、発信することで「推し」を契機とした旅行を促すこととしており、引き続き、このような取組をとおして、滞在型観光の推進を図ってまいります。	PR観光課

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
観光業の人材育成について	ただ観光開発を進めるのではなく、観光資源となる可能性のある文化や伝統を守る観光事業の提案や体験料金の設定なども含め、アドバイスできる人材育成や活用が必要であると考えているが、どのようにお考えか。	観光客へのサービスの向上を図るため、地域の観光資源を活かした観光メニューづくりや観光ボランティアガイドの育成、観光地域づくりの取組等への支援を行い、観光客の受入環境を整備する必要があると考えています。 県では、観光分野に精通した専門家等を県内各地へ「観光アドバイザー」として派遣し、支援を行っているところです。 観光アドバイザーの派遣については、地元市町村を通じて申請を受け、派遣決定することから、まずは、伊佐市へ御相談ください。	PR観光課
観光客の駐車場確保について	大浪池周辺は路上駐車がかなり多い。なんとかしていただきたい。	大浪池登山口には、現在30台程度駐車可能なスペースがありますが、ゴールデンウィークや紅葉等の時期に利用者が集中し、路上駐車が車両通行を妨げる等の例も発生しております。 県では、これまでも関係機関と連携して、登山口から歩いて20分程の新床展望台や1時間程のえびの高原駐車場での駐車を呼びかけており、令和5年度には、路上駐車をやめるよう呼びかける看板を県道沿い6カ所に設置したところです。 また、霧島市においては、えびの高原と丸尾を結ぶ「霧島連山周遊バス」を運行しており、その活用についても呼びかけております。 この案件については、環境省の呼びかけによりまして、関係機関が集まって情報共有及び意見交換を行っておりまして、県としましては、関係機関と連携して取り得る対策を検討してまいりたいと考えております。	自然保護課

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
ジオパークに係る県の取組について	霧島ジオパークに係る今後の県の取組について伺いたい。	「霧島ジオパーク」は、隣接する「桜島・錦江湾ジオパーク」とそれぞれ世界ジオパークの認定を目指していましたが、平成28年に日本ジオパーク委員会から、地球科学的価値を個別で評価することは困難であり、一体として評価されるべきと指摘され、両ジオパークとも国内推薦が見送りとなったところです。 このため、両ジオパークにおいてエリアの拡大申請を行い、令和3年・4年にそれぞれ拡大が認められたところであり、今後、両ジオパーク推進協議会は、一つのジオパークとして統合し、世界ジオパーク認定を目指すこととしています。 県としては、湧水町を含む5市2町及び民間団体等で構成される霧島ジオパーク推進連絡協議会に対し、負担金を支出するとともに、会員として始良・伊佐及び大隅地域振興局が参加しており、引き続き、世界ジオパークの認定に向け、協議会一体となって取り組んでまいります。	地域政策課
地域人材を活用した観光について	いい施設に加え、そこに歴史を持った先輩たちがそこに立ってて事件や体験を語ったら、魅力があると思う。海外の人にも来ると思っており、地域おこし協力隊の人たちと取り組んでいるところである。 インバウンドの体験ツアーとか、人間味のあふれる提供ができたらいいな、そういうモデルができたらいいなと考えている。	地域全体で、地域おこし協力隊の若い人たちも一緒にやる気を持って取り組むということだが、その地域を持続的に発展させていくためにも、大変大事なことだと思っており、そういったことを発信することで、海外の人たちも魅力的だというふうに考えて、実際に来るのではと思っています。 伊佐・湧水地域には、いろんな地域資源があるため、そういったものをどういうふうに活かしていくか工夫しながら、稼いでいく。そういったことをまたぜひこれから続けていただきたいと思っています。	PR観光課

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
十曾川周辺等のアクセスの整備について	十曾公園周辺及び釣り堀へのアクセス道路の整備に取り組んでいただきたい。	道路の整備要望について、市道であり、道路管理者は伊佐市となっています。 市町村道路事業のとりまとめを行っている道路維持課から伊佐市の担当部署へ、要望内容を伝えることとしております。	道路維持課
観光情報発信の強化について	釣り堀も含めた観光情報の発信の強化について取り組んでいただきたい。	観光情報の発信について、県では、県観光サイト「かごしまの旅」やInstagram「南の宝箱 鹿児島」等の県公式SNSにおいて、市町村等の協力を得ながら、県内各地の観光スポットやイベント等に関する情報発信を行うとともに、県観光サイトへ遷移するSNS広告を配信しているところです。 今後さらなる観光情報の充実を図るため、観光スポットやイベント等に関する情報などは、積極的に県や伊佐市へ共有いただきたいと考えています。 なお、令和7年度は同サイトを「南の宝箱 鹿児島」のプラットフォームと位置づけ、閲覧者にとってより活用しやすいサイトに改善を図ることとしており、より一層の情報発信に努めてまいります。	PR観光課
川内川流域を活用したサイクリングロードについて	県には川内川流域のサイクリングルートがあるようだが、それとは別に、地域を使った地域だけのサイクリングロード、川内川流域の丸池湧水から川内川がはしっているため、大人と子どもも一緒に家族で楽しめるサイクリングロードの開発ができないか。	県では、県内市町村や関係団体等と連携し、県サイクルツーリズム推進協議会を設置し、同協議会において、県内各地に24のモデルルートを設定したところです。 令和5年2月には、JR吉松駅から川内港まで約105キロの川内川流域ルートを設定しました。丸池湧水や鶴田ダム等に立ち寄り、のどかな田園風景を感じながら走れるコースとなっています。 県では、県観光サイトにおいて各ルート周辺の観光スポット等の情報発信を行うほか、観光施設等を対象にサイクルスタンドの設置費用を助成しています。また、自転車の進行方向を示す路面標示やルートの案内標識の整備を進めるなど、サイクリストの受入環境整備を行ってきたところです。 今後とも、これらの取組を通じて、サイクルツーリズムを推進してまいります。	PR観光課

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
吉松駅～人吉駅間の肥薩線早期復旧と開通について	吉松駅と人吉駅間の肥薩線早期復旧と開通について、県の考えを伺いたい。	人吉～吉松間（山線）については、観光塔産業の振興に資する重要なインフラであると考えています。 人吉～吉松間の復旧に向けては、本県、熊本県、宮崎県の3県に渡る線区であることから、今後の対応について、3県の交通政策担当課長が意見交換を行っております。 意見交換においては、買い物や通院、観光など利用実態の整理等が必要であるとの共通認識が得られたところであり、今後、関連するデータの収集・分析を行うこととしております。 県としては、引き続き、同線区の復旧に向け、3県で意見交換を行ってまいります。	交通政策課
県内全域を対象とした観光ツアーについて	海外の観光客の方は鹿児島市内に宿泊の拠点を置いている方が多いため、そういったところから日帰りで各地域を回れるような観光ツアーなどの開発ができないか。	県では、観光ツアーの造成促進を図るため、旅行会社に対する観光素材等のセールスや招請のほか、県内宿泊を伴う観光ツアーへの助成及び旅行会社等と連携したキャンペーンを実施しており、JALと連携し、霧島アートの森など県内観光地への周遊を促すキャンペーンを行ったところです。 インバウンドについても、海外の旅行会社等に対し、現地セールスや招請を実施しているほか、旅行消費単価が高い富裕層向けの新たな体験型観光コンテンツを盛り込んだツアーの造成や商品化などに取り組んでおり、湧水町では引退馬とのふれあいを体験する「ホーストラスト」を核とした取組を進めているところです。 引き続き旅行会社等と連携し、丸池湧水や霧島アートの森などの地方の魅力ある観光地へのアクセスが容易にできるような観光ツアーの造成促進等に取り組んでまいります。	PR観光課

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
観光業の人材確保について	観光業に力を入れているためには、その受け皿もしっかり力を入れるような、働きかけをしていただきたい。 地域に行けば行くほど、人手不足というのがすごく課題になっている。若い人がほとんどいないという中で、やはり働いてもらわないといけないのは、シニア世代だと思う。 県の方でも、元気なシニア世代へ。一生元気で働こうといったようなキャンペーンなどを行っていただき、少しでも観光客を地域に呼ぶ、そしてその受け皿もしっかり受けられる、そういう体制を取っていけるような政策をしてもらえないか。	人手不足の問題は、どこの産業どの地域も今言われていることですが、できるだけ地域の若い人たちに残って、その地域で働いて、流出しないようにする取組、Uターン等の移住者を呼び込む取組、そしてまた障害者、女性、高齢者といった方でも働きやすい環境を整備する取組に加え、外国人の受け入れに係る、省力化のための取組など様々な人材の確保育成といったことをしていくというのは、県でも取組みをすすめているところです。 また、令和6年10月には、宿泊事業者向けに外国人材の活用やスポットワークの活用に関するセミナーを開催したとことです。 引き続き、観光業界とも意見交換しながら、官民連携してどのような取組が必要か検討してまいります。	PR観光課
		県では、中長期的な観点から、県内産業の振興を支える人材の確保・育成を図るため、かごしま故郷人財確保・育成プロジェクトを進めております。 プロジェクトを通じて、関係部局や地域振興局・支庁と連携し、若年者等の県内定着やUターンの促進、県内企業の魅力や競争力の向上、外国人材を含めた多様な人材の活躍支援、地域産業、県民生活を支える人材の確保・育成に取り組んでまいります。 高齢者の就労支援については、シルバー人材センターの派遣業務等について、週40時間まで取り扱うことができる業種・職種を拡大し、就業機会の確保を図るとともに、高齢者雇用に先進的かつ積極的な企業を表彰の上、その取組内容を県内企業等へ周知しています。 また、県では、長時間労働の是正などに取り組む企業を「かごしま働き方改革推進企業」として認定し、広く周知するとともに、経営者等を対象とした「働き方改革推進セミナー」の開催等に取り組んでおり、高齢者や女性、障害者を始めすべての方々が、働きやすい職場環境整備を推進してまいります。	産業人材確保・移住促進課、外国人政策推進課、雇用労政課

知事とのふれあい対話（始良・伊佐地域）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
近隣県と連携した広域観光ルートについて	湧水町には温泉や、全国でも珍しい幻想的な景色が楽しめる雲海などの観光素材を有しているが、知名度が低くなかなか観光客を滞在させ、知名度を上げることができていないと考えている。 湧水町は宮崎県、熊本県に隣接する県境の町であり、県外からの例えば熊本、宮崎、鹿児島、3県による山間部に特化した広域的な観光ルートを設定し大々的にツアー事業へ提案や斡旋を行っていただくことなどできないか。	県では、南九州3県（鹿児島、熊本、宮崎）で構成する「南九州広域観光ルート連絡協議会」において、観光施策の連携強化を図っており、これまで南九州3県を周遊するデジタルスタンプラリーや、南九州地区への教育旅行の誘致促進を図る事業など、南九州3県への誘客及び周遊を促す施策を実施しているところです。 ご要望のあった、3県の山間部に特化した取組については、同協議会メンバーにも情報共有するとともに、今後の事業内容を検討する上で参考にさせていただきたいと考えています。 また、栗野岳八幡大地獄やホーストラストなどの湧水町の観光素材を紹介するパンフレット等の作成や、海外旅行会社を対象にした視察旅行を企画運営しているところであり、引き続き旅行会社に対して提案を行ってまいります。	PR観光課